

凍霜害対策講習会を開催しました

3月22日に東御市にて凍霜害対策講習会を開催しました。講習会には、くるみ、りんご等の生産者、JA技術員等約20名が参加しました。

昨年は暖冬の影響から果樹の生育が全体的に進んでいたところへ、4月の複数回に及ぶ強い寒気が県内に入ったことにより、各地で凍霜害が発生しました。上田地域の果樹では、くるみ、りんご等を中心に被害の発生がみられました。

そこで講習会では、一般的に取り組みやすい技術である燃焼法について主に説明し、固形燃料と灯油を用いた燃焼法の実演も行いました。当日は、植物体の安全限界温度や実際の着火のタイミングなど、多岐に渡り質問が出され、活発な意見交換が行われました。

近年は、早い時期で凍霜害が発生するなど、被害程度がこれまで以上に重大化するリスクが高まっています。生産現場においては凍霜害対策を着実に実施し、被害軽減につなげてほしいと思います。

